

第 2 表

サービス計画書 (2)

利用者名

様

作成日 令和 年 月 日

【期間】
 ・ 目標達成の期限
 ・ 開始時期と終了時期を書く
 ・ 終了時期には必ず評価を行う

生活全般の解決すべき課題(ニーズ)	長期目標		短期目標		サービス内容	※1	サービス種別	※2	頻度	期間
	(期間)	(期間)	(期間)	(期間)						
<p>しっかり歩けるようになりたい</p> <p>【ニーズ】 ・ 自立に向けての意欲 ・ 生活上の目標 ・ ~のようになりたい ・ ~のようにする ・ ~する</p>	<p>碁会所に行って仲間と囲碁を打つ</p> <p>【長期目標】 ・ 生活のワンシーンを表現 ・ 長期目標の先に生活上の目標がある <u>もっとも「その人らしさ」を表します</u></p>		<p>杖をついてトイレに行ける。 囲碁に触れる機会を作る</p> <p>【短期目標】 ・ 長期目標を達成するための「過程」・「段取り」</p>		<p>【サービス内容】 ・ 短期目標を達成するための「段取り」 ・ 課題整理総括表の見通し欄を参考に、必要な援助内容を書く</p>		<p>【サービス種別】 ・ 介護保険サービスにとられない(保険給付は利用する社会資源の一つにすぎない) ・ 外の力を利用する場合は、これが一番よい場合</p>		<p>【頻度】 ・ 短期目標を達成するために必要かつ効果的な頻度</p>	<p>【期間】 ・ 短期目標を達成するために必要なサービス内容の実施期間 ・ 計画したサービス内容は、同時に始まり終わるとは限らない(目標、サービス予定に応じた期間を設定する)</p>
<p><長期目標・短期目標> モニタリングの際に達成度が評価できるように具体的に書きます。 “安心、安全、安楽、”は明確な評価が難しいため、その人にとっての“安心、安全、安楽、”とはどういうことかを具体的に書きます。</p>					<p>[事例] 入院中のB病院医療相談室よりの紹介。自宅退院のため居宅介護支援の依頼。 Aさん 男性 77歳 要介護2 妻(76歳)と二人暮らし 障害高齢者の日常生活自立度：A2 認知症高齢者の日常生活自立度：自立 脳梗塞(初発) 高血圧症 左上下肢不全麻痺 リハビリテーション後、杖歩行可 主訴：本人-退院して家に帰れるのを楽しみにしています。 妻-退院後は夫と一緒に自宅で暮らしたいと思っています。 入院中、トイレまで間に合わず排尿の失敗が数回あった。 大手企業のサラリーマンとして定年まで勤めた。まじめで温厚な人柄。努力家、仕事熱心であった。 囲碁が唯一の趣味で、発症前は市内の碁会所に通っており、知人は多い。 近所づきあいは妻任せで、本人はあいさつ程度のつきあいであった。</p>					

※1 「保険給付の対象となるかどうかの区分」について、保険給付対象内サービスについては○印を付す。

※2 「当該サービス提供を行う事業所」について記入する。